MITAKA COLLABORATION CENTER NEWSLETTER

平成29年
3月
第150号

三鷹市市民協働センター

ニュースレター

三鷹市市民協働センターは市民活動を応援し、民学産公の協働によるまちづくりを推進する施設です。

開催しました

三鷹市町会等地域自治組織活性化事業

がんばる地域応援プロジェクト 発表会＆交流会

2月4日(土)開催　参加人数:55人

「がんばる地域応援プロジェクト※」の助成を受けた町会・自治会等の11団体が、地域の課題解決や活力を生み出す事業についての取り組みの発表を行いました。地域で関心が高まっている防災に関する事業やサロン事業をはじめとして、「まちを元気にしたい」「若い方にもっと参加してほしい」「近隣関係のなじみが薄い」など地域の様々な悩みに対して解決のヒントになる事例が多くみられました。また町会・自治会、市民団体の連携事業も増えてきており、このような取り組みが誰もが暮らしやすいまちづくりにつながると期待できる発表会でした。

発表会の後に開催されました交流会にも多くの方にご参加いただき、選考委員の先生を囲んで、活発な情報交換の場になりました。

選考委員長：法政大学法政大学教授　名和田　是彦　先生
選考副委員長：杏林大学准教授　古本　泰之　先生
選考委員：大野生活環境部長 、田口生活環境部調整担当部長

団体の発表

選考委員のコメント

交流会

※がんばる地域応援プロジェクトとは（三鷹市町会等地域自治組織活性化事業）
三鷹市では、「コミュニティ創生」のまちづくりを推進するために、地域の活性化や地域の新たな「共助」の仕組みづくりに取り組んでいます。その一環として、町会・自治会などの地域自治組織が実施する、地域の課題解決に向けた取り組みなどに対して助成金を交付する制度です。

←助成金が交付された11団体の取り組みについては、「がんばる地域応援プロジェクト実例集」を後日発行し、協働センターでも配布いたします。昨年度の冊子は現在センターでも配布しています。

もくじ

〈1ページ〉開催しました「がんばる地域応援プロジェクト発表会＆交流会」〈2ページ〉〈3ページ〉がんばる地域応援プロジェクト「助成金の交付を受けた11の団体の取り組み紹介」〈4ページ〉日米の友情の絵を描こう！、チョコっとあっぷるーむ

平成28年度「がんばる地域応援プロジェクト」

助成金の交付を受けた11団体の取り組みの紹介

下連雀六丁目防災の会「ご近所協力の和をひろげる」季節のイベント

■平成27年設立　■加入世帯:24

防災広場や南浦児童公園を活用した季節のイベントを1年を通じて開催し、住民同士と顔見知りになることで、いざという時のネットワークを育成した。7月は七夕飾りと消火訓練、１月は新春救急救命訓練、３月はひな祭りの飾りつけ等を実施し、住民の参加促進を図った。

下連雀八丁目防災の会　防災イベント「地域の絆を深める会」

■平成27年設立　■加入世帯:39

年間を通じて地域の商店や企業、マンション自治会等、様々な立場の人たちに呼びかけし、避難訓練を実施した。マンション住民とその周辺地域の住民が協力することで、今まで地域でつながりのない住民同士の絆が深まった。避難訓練後はゲーム的要素を取り入れた防災イベントを実施し、楽しみながら地域協力を確認し、交流が日常的に盛んになるきっかけの場となった。

三鷹台団地自治会「みんなでつくろう！つながりの場 」

■昭和37年設立　■加入世帯:416

役員の高齢化に伴い、若い担い手を発掘することを目的に、ハロウィンパーティーを開催。委託に頼らず実験的にボランティアを募り、ミニマムな予算での交流イベント開催を実現させ高齢者の参加促進のため昔遊び等を取り入れ、多世代交流の場を構築する。

井の頭一丁目町会「防災お茶会＆防災イベント」

■昭和49年設立　■加入世帯:893

防災お茶会、防災イベントを通して防災意識の向上を図った。町会の班単位で防災お茶会を開催することで、ご近所同士のつながりが深まり、町会活動の新たな担い手発掘につなげるとも災害時にお互い助け合えるような関係の構築を図った。班単位のお茶会からご近所が誘い合わせて参加できるような防災イベントを開催した。

向原あゆみ会「小噺高座と地域交流の会 」

■昭和23年設立　■加入世帯:112

住民同士の関係構築、防犯の強化と災害時の協力体制構築を目的として交流会及び小噺高座を開催した。自治会員同士が交流会を通して親しくなり、日常の挨拶や会話を交わるようになることで、自治会の活性化や連帯感を高め、地域の防犯や災害時の協力体制につなげるとともに、老若男女が集うことで自治会の和を保つことができた。

東野会「東野家族親睦バーベキュー大会 」

■昭和35年設立　■加入世帯:324

災害時在宅生活支援施設における避難所の設営、運営を実践することで、より実践的な活用方法を考えることができた。子ども達も参加しやすいよう体験コーナー等を実施することで幅広い世代の参加を促し、平常時でも協力し合える体制づくりを構築した。

上連雀一丁目アパート親和会「憩いカフェを拠点とした住民の絆づくり」

■昭和32年設立　■加入世帯:81

今年度は「顔の見える関係づくり」から「手をとり、つながり合える関係づくり」へ発展させ、集会所を憩いカフェとして開放して多世代交流のきっかけ（講座やイベント等）をつくった。カフェを通じて住民相互の交流や独居宅の見守りや居住区の活性化、さらに備蓄確認意識の強化、美化活動による犯罪防止・抑制を図った。また、自治会活動の新たな担い手発掘も期待できた。

山中親交会「地区防災マップ案内板と防災イベント」

■昭和24年設立　■加入世帯:153

地域の防災力を向上するために、地区防災マップを作成して防災への知識や関心を高めるとともに、消火器スタンプラリーを防災訓練と合わせて実施することで楽しみながら学んだ。また、防災訓練への積極的な参加を図るため、案内チラシの作成を町会が一丸となって取り組むことで、町会内のコミュニケーションと結束力の強化及び活性化へとつながった。

協同組合三鷹中央通り商店会
「阿波踊りでひと・まちを元気に」M-マルシェでみたか連と遊ぼう

■平成3年設立　■加入世帯:102

商店会主催のMーマルシェの中で阿波踊りをフォトジェニックなパネルを使った記念写真撮影会、即席阿波踊り教室、クイズラリー、模擬店などのイベントをみたか連の協力の下実施し、商店会の賑わい創造、集客向上につなげていった。楽しみながら地域の方や、留学生を筆頭に近隣大学との関わりをより親密にしていくことにもつなげられた。

京王つつじヶ丘自治会「ふれあいサロン Near 近くで見守るまちづくり」

■昭和37年設立　■加入世帯:249

地区公会堂を拠点とした「ふれあいサロン」を実施し、参加者への案内に合わせて、声掛けを積極的に行う見守り活動をした。高齢者のみならず若い世代の参加を促すようなイベント内容にすることで、多世代交流の場となった。

下連雀若葉会　（町会交流イベント）
エイジレスで健康に暮らすための食を考える健康増進ワークショップ

■昭和32年設立　■加入世帯:470

「食事をおいしく、『安全』に食べることで健康に貢献すること」をコンセプトとして、栄養や嚥下食の講演会や嚥下食を試食できるイベントを開催し、生活の質の向上に貢献した。また、子ども科学実験ショーも同時開催することで、幅広い町会員が参加し、交流できるイベントとなった。

日米の友情の絵を描こう！

「日米の子どもたちによる国際交流絵画展」に展示する絵を募集します。

◆募集テーマ：日米交流と友情、桜寄贈の歴史、世界の平和、日本の紹介(キャラクターを含む)、遊びやスポーツ
◆対象：小学生　　◆応募点数：おひとり2点まで　　◆締切：2017年3月16日（木）
◆送付先：〒181-0013三鷹市下連雀4-17-23　三鷹市市民協働センター　友情の桜と緑の会
◆用紙・表現素材：画用紙、絵具・クレヨン・カラーペン・切り絵・貼り絵　等
◆大きさ：目安は八つ切りの画用紙27×38㎝（最大：29.7×42㎝）
※横長で描いてください。
※下3㎝程度を空け、ワシントンへのメッセージ・ひらがなで氏名・年齢・大まかなお住まいの場所を記入。
◆「一般公開同意書」(チラシの裏面)に必要事項を記入し、絵の裏側に添付(上下2か所をセロテープ等で止める)。
チラシはＨＰからダウンロードできます。
◆お問合せ：三鷹市市民協働センター内　友情の桜と緑の会事務局（℡46-0048）
◆展示期間：4/14(金)～5/7(日)　◆場所：三鷹市市民協働センター/MISHOP/みたかスペースあい
※みたかスペースあいは4/22(土)～
★絵はお返しいたしません。また、ワシントン桜祭り会場に送られ展示されることもあります。その他、公式Webサイト等にも掲示されることがあります。

詳しくは協働センターHPをご覧ください。

＊おやこでよって＊ チョコっとあっぷる♪む

※時間：午前10：30～正午　　（先着順）

	月日	テーマ・内容	参加費	担当	定員
①	3月2日(木)	ママ護身術エクササイズ（キック編） ～だっこしたまま、強いママ～	1,500円 （防犯ホイッスル付）	アイ・リコサイス	6組
②	3月6日(月)	ママの手仕事 ～つるし端午を羊毛フェルトで作ろう～	1,800円 （材料費込）	NPO法人子育てコンビニ	8組
③	3月9日(木)	色で子育てを楽しく！ ～色育(いろいく)でママもリフレッシュ～	2,000円 （色育絵本付）	NPO法人子育てコンビニ	6組
④	3月13日(月)	産前・産後の骨盤ケア ～知って整え、お産も産後も安心～	2,000円 （さらし付き）	はっぴいまむず （助産師・整体師　谷京子）	6組
⑤	3月16日(木)	「ベビーサイン」で楽しい子育て♪ ～赤ちゃんとお手てでコミュニケーション～	1,500円 （ご夫婦参加でも同額）	Mama & Baby	8組
⑥	3月20日(月) 祝日	パパの子育て講座「ベビーマッサージ」 ～赤ちゃんと楽しくふれあいましょう♪～	1,800円(ご夫婦参加でも同額、オイル・シート代込)	Mama & Baby	6組
⑦	3月23日(木)	みんな一緒に「ベビーマッサージ」 ～赤ちゃんとのふれあいを楽しみましょう♪～	1,800円(ご夫婦参加でも同額、オイル・シート代込)	Mama & Baby	8組
⑧	3月25日(土)	スリングなど抱っこひもの安全な使い方・選び方 ～赤ちゃんにやさしい抱っこを考えよう～	1,500円 （ご夫婦参加時2,000円）	はっぴいまむず	4組
⑨	3月27日(月)	ヨガママで骨盤調整(ハイハイ前) ～ママの為のヨガで骨盤整えリラックス～	1,500円	花莉屋	8組

【対象】 おおむね0～3歳のお子さんを持つ親子
及び妊娠中のお母さん
（講座ごとに異なりますので、ご確認ください。）
【会場・申込み・問合せ】　三鷹市市民協働センター
※お持ち物など詳しい内容のお問い合わせ・お申込みは当センターへ

☆全回、保育はありません。
☆お車でのご来場はご遠慮ください。
☆キャンセルされる場合は、必ずご連絡ください。
☆お菓子とお茶をご用意しています。
☆ご夫婦参加の場合は申し込み時に必ずお申し出ください。

■町会・自治会へニュースレターを配付させていただきます

協働センターニュースレターは町会・自治会など地域自治組織に無料で配付させていただいております。組織単位でご連絡いただければお届けいたします。町会・自治会の皆様、ぜひご検討ください。

Editor's note.
編集後記：2月24日(金)から個人消費を促して経済を活性化し、長時間労働を是正する目的のプレミアムフライデーが始まりました。月末の金曜日は早い時間に退社し余暇を楽しみましょうということですが、推奨される余暇の楽しみ方が消費生活となると、「花金」なる言葉が流行した時代を知る私には人間的生活よりも経済優先なのではと思えてしまいます。しかし長時間労働の是正はありがたいことなので、両輪がバランスよく回るように、提供されるサービスをうまく選択しながら、自らも自分の内面を豊かにしてくれる時間の使い方を模索する必要があります。時間もあり、だらだらと家で過ごすことが好きな私にはあまり関係のない話でした。

◆ニュースレター配布場所◆

るま・ばぐーす、グラナダ、三鷹モダンタイムス、美容室TBK三鷹店、コワーキングスペースHammock、TOKYOたまものスイーツ、ハローワーク三鷹、NPO法人子ども生活・ゆめこうば、各コミュニティ・センター、各市政窓口、各図書館、その他市の公共施設、近隣市区の市民活動支援センター

発行日：平成29年3月1日
発　行：三鷹市市民協働センター
（指定管理者：特定非営利活動法人みたか市民協働ネットワーク）
〒181－0013　東京都三鷹市下連雀4－17－23
TEL 0422－46－0048　FAX 0422－46－0148
メール：kyoudou@collabo-mitaka.jp
ホームページ：http://www.collabo-mitaka.jp
開館時間：9:00am-9:30pm　　受付時間：9:00am-9:00pm
休館日：火曜日（祝祭日は開館し、直後の平日を休館とします。）